

---

# 平成27年度第1四半期 決算説明会資料

---

平成27年8月6日

**日新製鋼株式会社**

# 平成27年度第1四半期決算

## 平成27年4-6月の概況

- ✓ 国内景気は回復基調にあるものの、建材分野を中心に鋼材需要は回復が遅れており、海外市況の低迷による輸出の不調もあり、国内鋼材在庫は高水準が続いている
- ✓ 実需見合いの生産に徹した結果、販売数量は86万トに留まり、売上高は対前年同期比減収
- ✓ 鉄鉱石など原料価格の下落に加え、引き続き合理化・総コスト削減や統合シナジーなどグループ一体となった収益改善を推進し、在庫評価損を除く実カベース経常利益は43億円を計上
- ✓ ステンレスはN i 価格下落に伴う先安感が漂っており、販売価格優先の方針を維持するものの、市況が弱含みで推移する中、荷動きは低調。数量減の影響が大きく、在庫評価損除く実カベース経常利益は▲5億円

# 平成27年度第1四半期決算

(億円)

		No	H27年度 4-6月 (実績) a	H26年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b
売	上	1	1,372	1,510	▲ 138
営	業	2	10	22	▲ 12
経 常 利 益	普通鋼・特殊鋼	3	38	22	16
	ステンレス	4	▲ 20	▲ 10	▲ 10
	計	5	18	12	6
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	6	12	0	12	

在 庫 評 価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 5	▲ 5
	ステンレス	8	▲ 15	5	▲ 20
	計	9	▲ 25	0	▲ 25

<実力ベース>

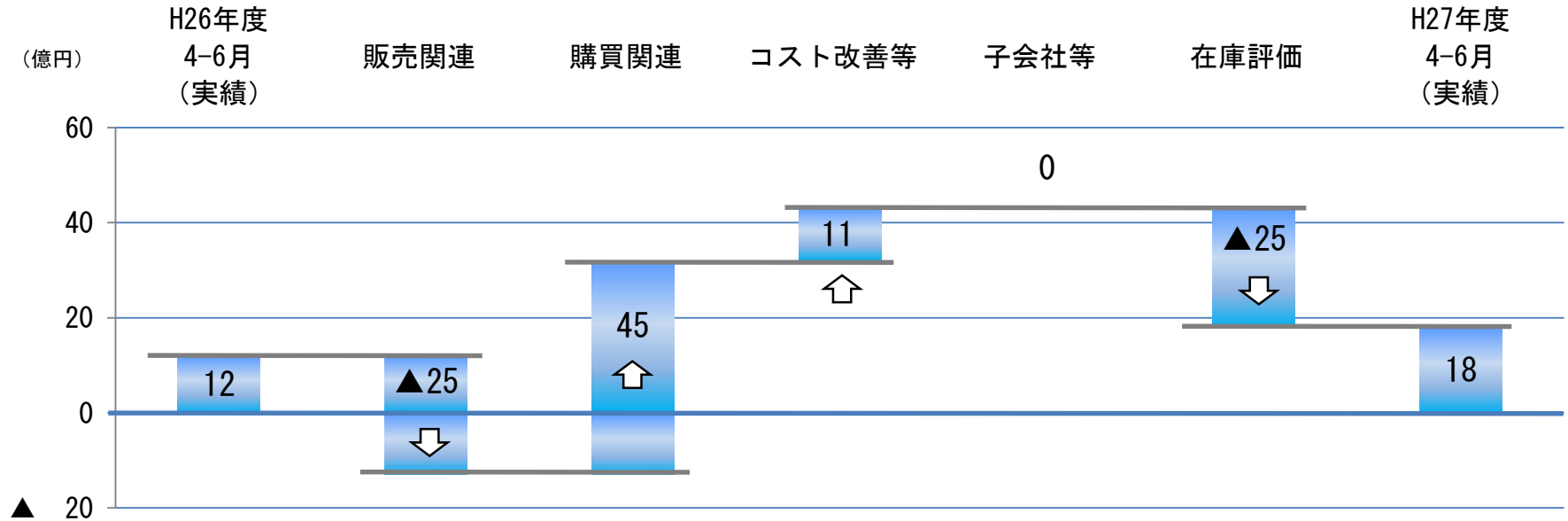
経 常 利 益	普通鋼・特殊鋼	10	48	27	21
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 15	10
	計	12	43	12	31

# 平成27年度第1四半期諸元

		No	H27年度 4-6月 (実績) a	H26年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	79	82	▲ 3
	ステンレス	2	15	20	▲ 5
	計	3	94	102	▲ 8
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	74	80	▲ 6
	ステンレス	5	12	15	▲ 3
	計	6	86	95	▲ 9
鋼材平均単価 (千円/ト)		7	124	124	0
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	17	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	121	102	19

# 経常利益差異内訳

## H26年度4-6月(実績):H27年度4-6月(実績)



H26年度4-6月 (実績)		12	変動要因	▲ 10
変動要因	販売関連	▲ 25	数量構成差▲25、価格差▲20、輸出為替差 20	10
	購買関連	45	鉄鉱石 70、石炭 10、油類 15、ニッケル原料 20、 輸入為替差▲75	▲ 5
	コスト改善等	11	合理化等	5
	子会社等	0		0
	在庫評価	▲ 25	0→▲25 (内ステンル 5→▲15)	▲ 20
計		6		▲ 10
H27年度4-6月 (実績)		18		▲ 20

# 貸借対照表 (H27年6月末)

(億円)

		対H27/3末		主な内訳
現預金	225	▲	37	
売上債権	680	▲	109	売上減少
たな卸資産	1,454		12	
その他流動資産	299	▲	9	
有形・無形固定資産	2,784		7	
投資等	2,177		53	株式含み益 他
資産合計	7,622	▲	83	

有利子負債	2,869	▲	28	
その他の負債	2,043	▲	44	
負債合計	4,913	▲	72	
資本金・資本剰余金	1,063	▲	147	利益剰余金へ振替▲123、配当▲43
利益剰余金	876		135	資本剰余金から振替 123、 親会社株主に帰属する四半期純利益 12
自己株式	▲ 5	▲	0	
その他の包括利益累計額	700		18	
非支配株主持分	73	▲	17	
純資産合計	2,708	▲	10	
負債・純資産合計	7,622	▲	83	

# 平成27年度業績予想

## 平成27年度の見通し

- ✓ 鋼材需要は各需要分野に一定の回復傾向が見られるものの、欧州の財政問題、中国経済の成長鈍化、頻発する通商問題などの影響が懸念
- ✓ 販売数量は下期にかけ徐々に回復を見込むものの、上期の減少分をカバーするには至らず、売上高も対前年度比減収となる見通し
- ✓ 原料価格の下落を受け、販売価格も一定の調整を見込んでいるが、適切な販売・購買マージンの維持に努め、在庫評価損除く実カベース経常利益は185億円となる見通し
- ✓ ステンレスは足元では低調な需要環境の影響を受けた結果となっているが、統合シナジーの最大化、周南新製鋼とグループ開発戦略本部による新商品・新用途開発の展開等、構造改革を進めていく

# 平成27年度業績予想

(億円)

	No	H27年度				H26年度 (実績) e	差異		
		上期		下期 (予想) c	(予想) d		① b-a	② d-e	
		4-6月(実績) a	7-9月(予想) b						
売上高	1	1,372	1,428	2,970	5,770	6,175	56	▲ 405	
営業利益	2	10	40	95	145	210	30	▲ 65	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	38	47	100	185	161	9	24
	ステンレス	4	▲ 20	▲ 20	▲ 25	▲ 65	35	0	▲ 100
	計	5	18	27	75	120	196	9	▲ 76
親会社株主に帰属する当期純利益	6	12	13	55	80	169	1	▲ 89	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 10	▲ 10	▲ 30	▲ 25	0	▲ 5
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 10	▲ 10	▲ 35	25	5	▲ 60
	計	9	▲ 25	▲ 20	▲ 20	▲ 65	0	5	▲ 65

## <実力ベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	48	57	110	215	186	9	29
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 10	▲ 15	▲ 30	10	▲ 5	▲ 40
	計	12	43	47	95	185	196	4	▲ 11

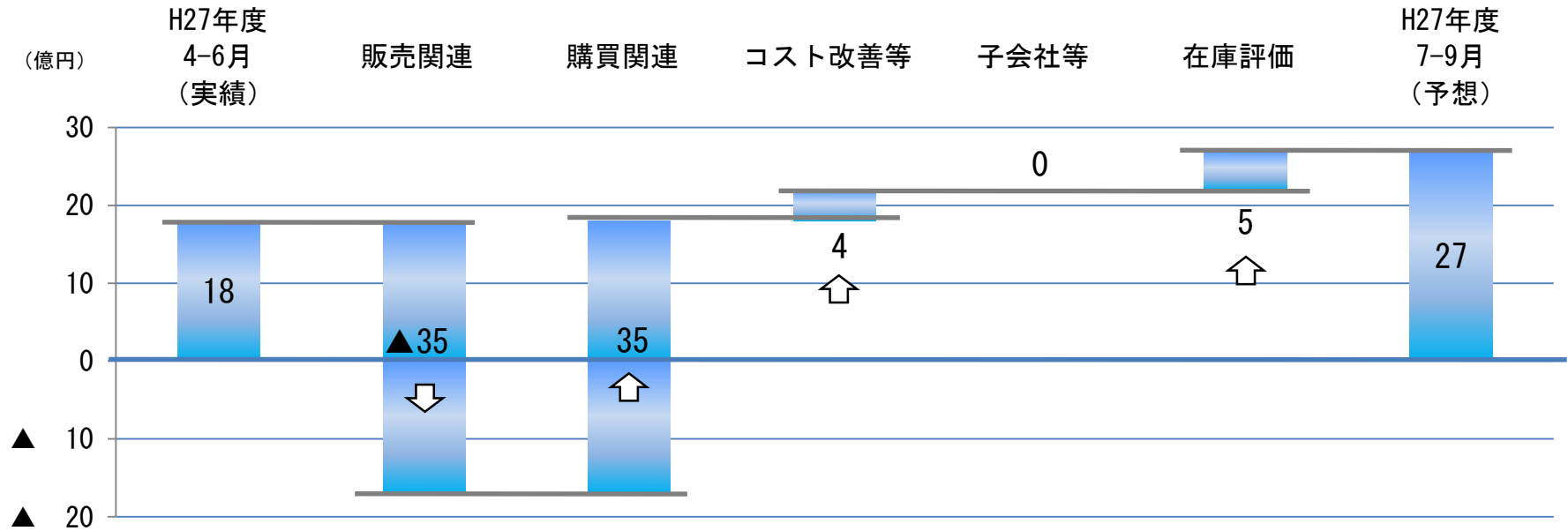


# 平成27年度業績予想諸元

		No	H27年度				H26年度	差異	
			上期		下期	(予想)	(実績)	①	②
			4-6月(実績)	7-9月(予想)	(予想)	(予想)	(実績)	b-a	d-e
			a	b	c	d	e		
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	79	81	160	320	327	2	▲ 7
	ステンレス	2	15	20	33	68	71	5	▲ 3
	計	3	94	101	193	388	398	7	▲ 10
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	74	74	158	306	321	0	▲ 15
	ステンレス	5	12	14	29	55	60	2	▲ 5
	計	6	86	88	187	361	381	2	▲ 20
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	124	122	122	122	127	▲ 2	▲ 5
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	16	17	17	17	▲ 1	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	121	120	120	120	109	▲ 1	11

# 経常利益差異内訳

H27年度4-6月(実績):H27年度7-9月(予想)

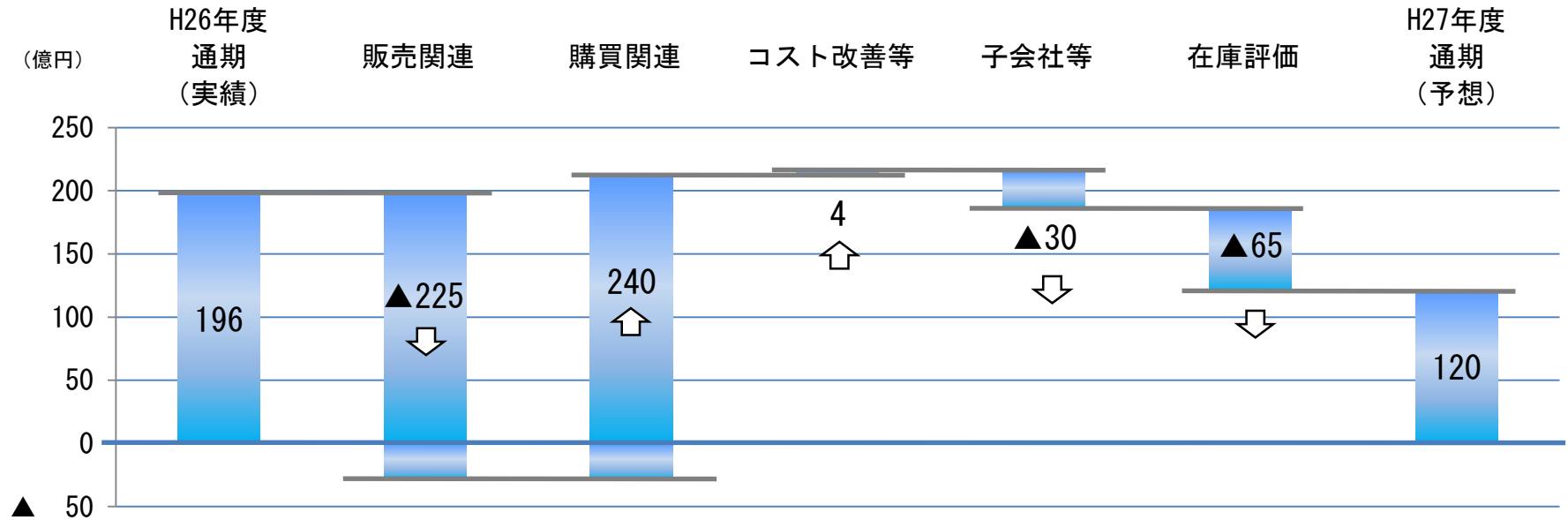


		(億円)	(内ステンレス)
H27年度4-6月 (実績)		18	▲ 20
変動要因	販売関連	▲ 35	▲ 15
	購買関連	35	10
	コスト改善等	4	0
	子会社等	0	0
	在庫評価	5	5
	計	9	0
H27年度7-9月 (予想)		27	▲ 20

変動要因詳細:  
 販売関連: 数量構成差 5、価格差 ▲40  
 購買関連: 鉄鉱石 15、石炭 10、ニッケル原料 10  
 コスト改善等: 合理化等  
 在庫評価: ▲25→▲20 (内ステンレス▲15→▲10)

# 経常利益差異内訳

## H26年度通期(実績):H27年度通期(予想)



H26年度通期(実績)		196	変動要因	35
変動要因	販売関連	▲225	数量構成差▲60、価格差▲225、輸出為替差60	▲65
	購買関連	240	鉄鉱石215、石炭40、ニッケル原料110、油類75、輸入為替差▲225	55
	コスト改善等	4	合理化等	0
	子会社等	▲30	海外子会社等	▲30
	在庫評価	▲65	0→▲65(内ステンレス25→▲35)	▲60
計		▲76		▲100
H27年度通期(予想)		120		▲65

(億円) (内ステンレス)

# 剰余金の配当

第2四半期末配当については、連結業績に応じた安定的な配当を基本に、足下の業績および今年度の見通しを踏まえ、1株当たり15.0円を実施予定。

なお、通期末の配当については現時点で未定

## 【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

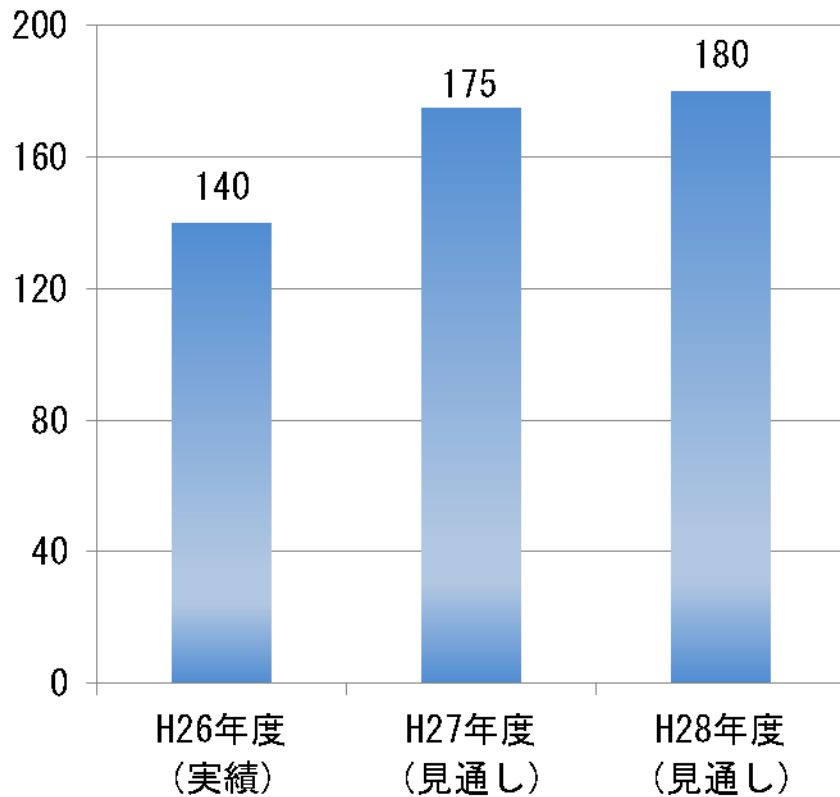
(ご参考)  
主要データ



# 合理化・総コスト削減とシナジー効果

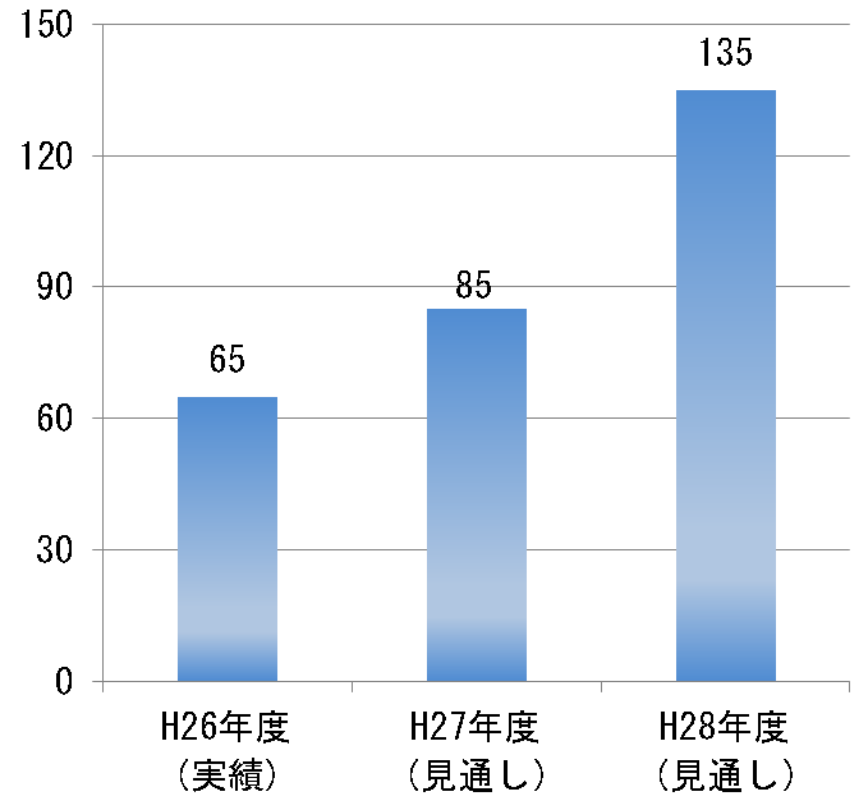
## 合理化・総コスト削減

(億円)



## シナジー効果

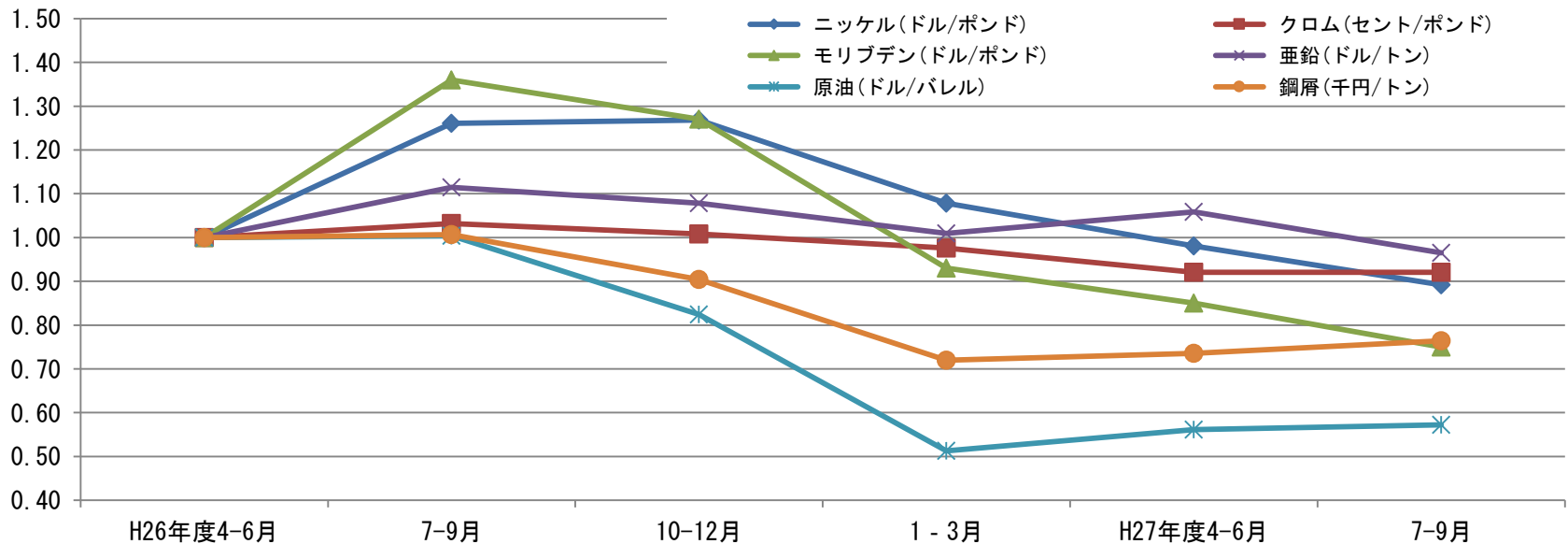
(億円)



# 購買市況(適用ベース)

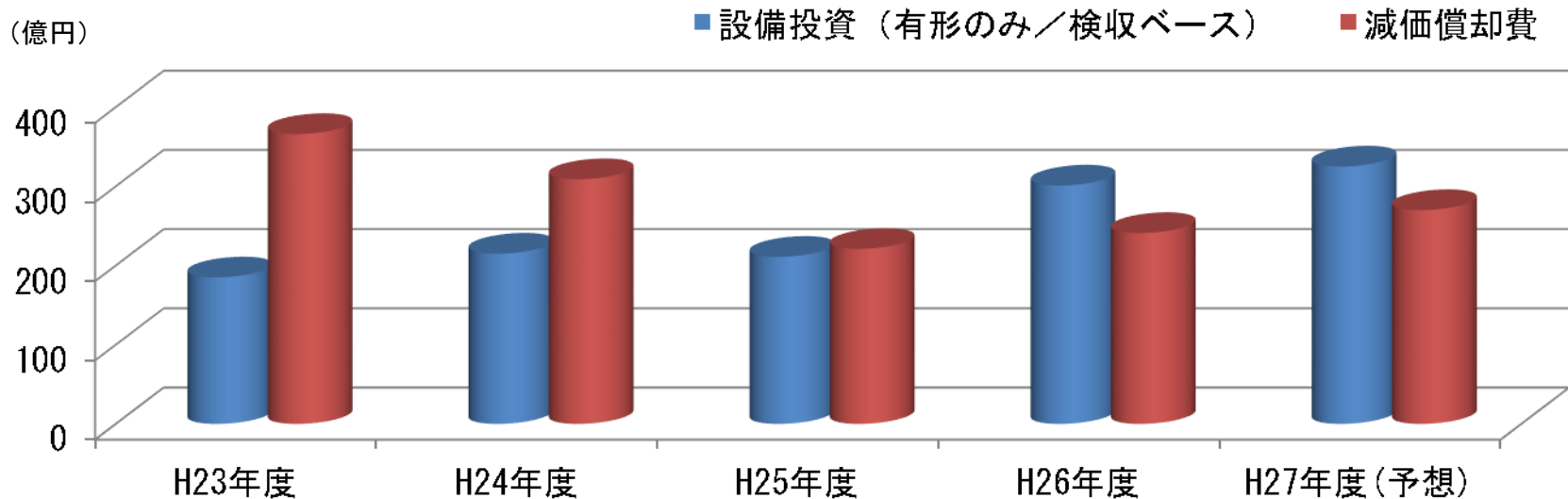
	H26年度							H27年度		
	上期			下期			平均	上期		
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月(予想)	平均(予想)
ニッケル(ドル/ポンド)	6.64	8.37	7.51	8.42	7.16	7.79	7.65	6.51	5.92	6.22
クロム(セント/ポンド)	126.0	130.0	128.0	127.0	123.0	125.0	126.5	116.0	116.0	116.0
モリブデン(ドル/ポンド)	10.0	13.6	11.8	12.7	9.3	11.0	11.4	8.5	7.5	8.0
亜鉛(ドル/トン)	2,073	2,311	2,192	2,235	2,092	2,164	2,178	2,195	2,000	2,098
原油(ドル/バレル)	104.9	105.3	105.1	86.5	53.8	70.1	87.6	58.9	60.0	59.5
鋼屑(千円/トン)	31.4	31.6	31.5	28.4	22.6	25.5	28.5	23.1	24.0	23.6

購買市況の推移 (H26年度4-6月を1.00)



# 設備投資・減価償却費

※H23年度は旧日新製鋼連結



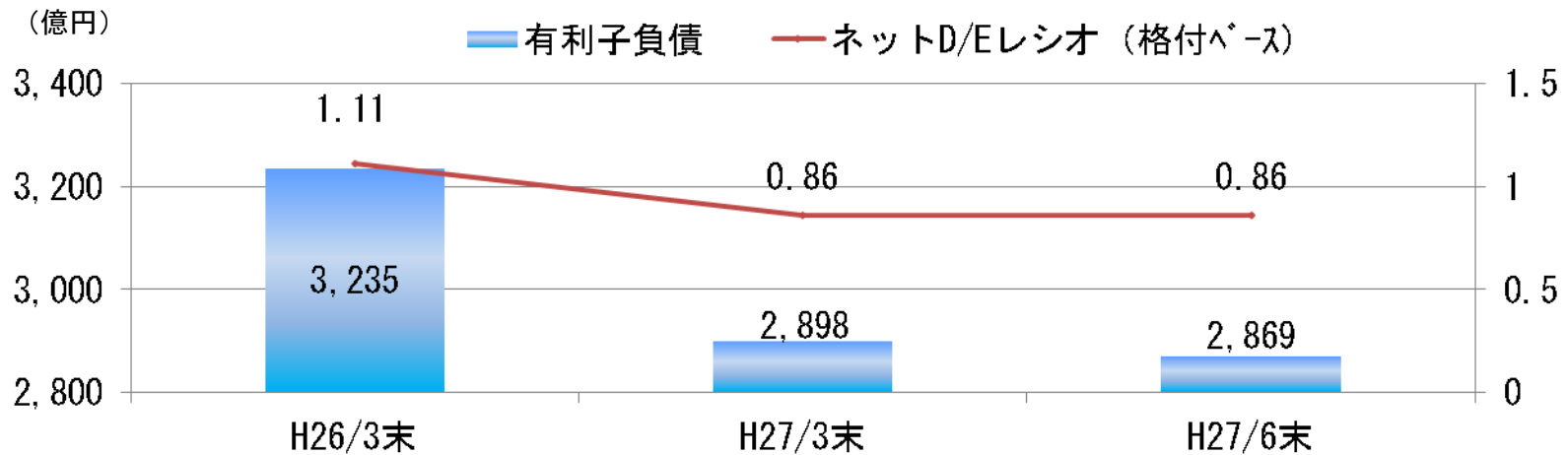
(億円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (予想)
設備投資	185	215	211	301	325
減価償却費	366	309	221	241	265

※設備投資額は有形のみ／検収ベース



# 有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H26/3末	H27/3末	H27/6末
手許預金 (億円)	408	263	225
有利子負債 (億円)	3,235	2,898	2,869
ネットD/Eレシオ	1.36	1.00	1.00
〃 (格付けベース) ※	1.11	0.86	0.86

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ  
 (H26/3末は500億円の50%、H27/3末およびH27/6末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)